

【教育目標】 英知の風かおり 友愛の情ふかく 精励の志つねに



中野だより

令和 元年 5月23日 発行 第13号 発行者:中野区立中野中学校

生徒会について考える

ウルトラセブンの話から

5月11日(土)、生徒総会が行われた。総会では生徒会役員や各委員会から学校生活の充実と向上を図るための様々な提案がされ、すべて可決された。総会の一部始終を見ながら、ウルトラセブンの最終回を思い出していた。

ウルトラセブンは地球を宇宙の侵略者から守るためにM78星雲からやってきた。通常はモロボシ・ダンという人間の姿でウルトラ警備隊に所属し地球の平和を守っているが、同警備隊で対処できない強大な侵略者が現れると、ダンはウルトラセブンに変身して侵略者と戦う。その最終回はこうだ。



ダンは侵略者との激闘で瀕死の重傷を負い、病院のベッドでうなされていた。しかし、地球が侵略の危機に陥ったことを知って病院を抜け出し、セブンに変身して侵略者と戦おうとする。そこへ同警備隊のアンヌ隊員が迎えに来る。ダンはアンヌに、「アンヌ。僕は、僕はね…、人間じゃないんだよ！ M78星雲から来た、ウルトラセブンなんだ！」と打ち明ける。

「人間であろうと、宇宙人であろうと、ダンはダンに変わらないじゃないの！ 例えウルトラセブンでも！」と答えるアンヌ。

「ボクはM78星雲に帰らなければならないんだ！と言って、セブンに変身しようとするダン。

「待って！ 行かないで！」と懇願しダンの腕にすがりつくアンヌ。

しかし、ダンはアンヌを振り切ってセブンに変身し、最後の戦いに臨む。

涙ながらにセブンの戦いを見つめるアンヌは他の隊員たちにこう言う。

「ウルトラセブンの正体は、私達のダンだったのよ！ M78星雲から地球を守るために遣わされた平和の使者！ 自分を犠牲にしてまでこの地球のために戦ってるんだわ！ でも、もうこれが最後の戦いよ！ ダンは、自分の星へ帰らなければならないの！」

アンヌの話聞いたウルトラ警備隊のキリヤマ隊長はこぶしを握りしめ、隊員たちに言う。

「行こう！ 地球は我々人類、自らの手で守り抜かなければならないのだ！！」



ワイドショット

ウルトラ警備隊の援護によってセブンは強敵を倒し、M78 星雲へ飛び立って行った。

長くなってしまった。さて、キリヤマ隊長の言葉で、「地球」を「中野中」に、「人類」を「中野中生」に、「守り抜く」を「より良くしていく」に換えてみよう。

「中野中は我々中野中生、自らの手でより良くしていかなければならないのだ！！」

生徒会とは生徒の自治的組織である。自治とは、自分たちのことを自分たちで処理すること。地球を守り抜くのがウルトラセブンでなく我々であるように、中野中をより良くするのは先生方でなく中野中生一人ひとりなのである。頼んだぞ！ 中野中生！！

生徒総会閉会あいさつより

今日の生徒総会はいかがだったでしょうか。普段は委員会との関わりが少ない人や、委員会がどんな活動を行っているのか知らなかった人も多いと思います。そんな人たちもこの総会を通して活動への理解が深まり、興味をもってくれたはずですよ。

生徒総会は活動方針や活動内容を発表し、皆さんの疑問や要望を全校で共有できる場です。一人ひとりが学校のことについて考え、意見できる機会はとても大切なものです。これをきっかけに全校生徒が頑張っている人に協力するという意識をもちましょう。それ次第で中野中はいくらかでも良い方向へ向かっていけるはずです。

(副会長 馬場 琳太郎)



1年生、初めての宿泊行事

4月26日から27日にかけて一泊二日で行われた山中湖移動教室は、1年生が友情を深めるための、そして、中野中生としての自覚をもつための最良の機会となりました。

～事前学習～

集団生活のルールとマナー。仲間との絆。人との出会い、自然との出会い。移動教室で学ぶべきことを学年全体で確認したうえで、班づくりや係活動を行いました。事前の係毎の集まりでは、「みんなで過ごすんだから5分前行動が大切！」、「ご飯の準備を早めに行けるといいね！」というように、移動教室を成功させるために必要なことを、生徒自ら考える様子が見られました。

～移動教室本番～

不安定な天候のなか、富士山背景の記念撮影は逃してしまいましたが、生徒たちは元気いっぱい！ワークショップ形式のゲームや大縄跳びの練習に、はじけるような笑顔で臨みます。自然のなかで思い切り体を動かしながら楽しむ様子からは、いつも以上のエネルギーを感じました。



食事や入浴、保健といった係活動にも、一人ひとりが自分の役割に責任をもって取り組むことができました。「おいしそう！ありがとうございます！」、「ごちそうさまでした～！！」と宿舎の方々にお礼を言う姿を見ていると、思わず笑みがこぼれます。

また二日目には忍野村にて「ほうとうづくり体験」を行いました。民宿の方の実演を食い入るように見つめ、班で協力して挑戦！自分たちで打った麺を、お腹いっぱいいただきました。



～移動教室後の振り返り～

「時間と予定を考えて行動できた」、「ゲームや体験を通してクラスの仲が深まった」というポジティブな振り返りが挙げられる反面、「ガイドさんの話をもっとしっかりきけたはず」、「話そうとしている人にすぐに気付いて静かにできなければいけない」という反省も聞こえてきました。移動教室での学びを日頃の学校生活に生かし、中野中生としてのプライドをもった1年生に育っていくことを願っています。

(1年 中澤)



離任式実施される

5月17日(金)離任式が行われた。式では離任された4名の先生方に代表生徒が感謝の言葉を述べ、花束をお渡しした。その後、各先生方からご挨拶をいただき、全校生が「明日の空へ」を合唱し、最後に中野中の校歌を歌った。以下、4名の先生方の紹介。

1、松尾 美恵先生（美術・7年）

中野中開校の平成24年4月、美術科担当として多摩市立中学校より異動。校長室前などを校内ギャラリーとして中野中生の美術の作品を日常的に展示。作品の完成度合は大変高く、展覧会に出展された作品のよう。通知表の所見は心温まる内容で、生徒や保護者は大いに励まされた。デパ地下が大好き。3月20日に第7回生の卒業を見届け、4月に中野区内中学校へご転出。現在は1学年の学年主任と学級担任を担当。



2、齊藤美佳先生（英語・2年間）

平成29年4月、英語科担当として国分寺市立中学校より異動。2年間、現3年生が授業等でご指導をいただく。また、吹奏楽部の顧問として演奏会で指揮をされている姿は印象的だった。昨年度は、文化的行事委員会の委員長として合唱コンクールの運営を担い、東北の

復興祭で奏でる有志による「花は咲く」の合唱をゼロホールで発表することを実現。お話好きで、職員室でも元気におしゃべりをしていた。4月、日野市立中学校へ異動。

3、宮川朝子先生（国語・1年間）

昨年4月、国語科担当として区内中学校より異動。現2年生は国語の授業で、読書部員は部活動で世話になる。小学校時代よりバレエを習い、昨年は「白鳥の湖」で「ルースカヤ」役で舞台に立つ。時間割を間違え、違うクラスに行ってしまうこと何度か。この4月、中野区立中学校へ異動。

4、石隈章子先生（図書館指導員・7年）

中野中開校の平成24年4月から図書館指導員として7年間、本校で勤務。中野中生がいつでも図書館を利用できるようにと、毎日出勤され、昼休みも、放課後も開館。また、図書館に、七夕飾りを展示したり、多読者にベストリーダー賞を贈ったりして、中野中の皆さんにたくさんの本を読んでもらおうと様々な工夫をされた。中野区立小学校へ異動。

なお、4名の先生方の他に、事務室佐藤徳則主査が区内中学校へ異動されたが、お仕事の都合で出席が叶わず。副校長先生が佐藤さんからいただいたメッセージを紹介。

マナー講座を実施

5月21日(火)、第2学年は日本航空の元CAを講師としてマナー講座を実施しました。

今回のマナー講座では「印象」の大切さを再認識しました。例えば、相手と話す時には笑顔で…。笑顔は作り笑いではなく目も笑うように…など。講座では鼻から下を隠し、お互いに笑顔かどうかをチェックしました。実際、口だけで笑っていても相手には笑っているようには見えませんでした。相手とは目を見て話すわけですから、目が笑っていると相手を安心させることができます。また、中野中で実践している「先言後礼」については、同時礼よりも丁寧な印象を与えることが理解できました。

この講座を機会に2年生は、ノックの回数や「先言後礼」を今まで以上に意識するようになったと思います。（2年 丸山）



☆ 表彰 ☆

- 第3ブロックソフトテニス大会
第5位 石井百夏・坂口心愛 組
- 中野区中学校春季卓球大会
第3位 男子団体
- 中野区中学校バドミントン春季大会
第3位 女子団体
第3位 女子シングルス（寺久保 百那）